

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1327日経過しました。

第5次長期滞在クルーのISS滞在は32日経過しました。

ISS動向

第5次長期滞在クルーは6月29日にドッキングしたプログレス補給船からの荷下ろし作業を行いました。また、ウィットソン宇宙飛行士は米国実験棟「デスティニー」内の微小重力下でのライフサイエンス実験に使用されるグローブボックスという実験装置で行う実験の準備を行いました。7月4日はアメリカ独立記念日のため、クルーも休日をとりました。

7月10日にはISSのロボットアームをデスティニーからモービル・ベース・システムへ移動させる予定です。

モービル・ベース・システムに関する情報は以下をご覧ください。
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/uf2/>



ISS第5次長期滞在クルー
左：コルズン宇宙飛行士（ロシア）
中央：ウィットソン宇宙飛行士（NASA）
右：トレシェフ宇宙飛行士（ロシア）

これからの予定（日本時間）

- ・8月23日（金）スペースシャトル・アトランティス号
打上げ（アメリカ）

この他のISS関連打上げスケジュールは、以下をご覧下さい。
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/assemble/doc02.html>

“お知らせ”

航空機を使った微小重力実験の参加テーマを募集

NASAでは今年12月に航空機を使った微小重力実験を予定していますが、この実験機会を利用して実施する実験テーマを募集しています。今回の募集はNASAが提供するスペースを利用するもので、大学生・大学院生・高専学生から斬新なテーマを求めていきます。応募テーマの中から2テーマ程度を選定し、選ばれたチームには実験装置を製作していただき、航空機による放物線飛行を利用した微小重力実験を行っていただきます。

募集に関する詳しい内容については下記をご参照下さい。
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/education/parabolic/>



実験に使用する航空機
(ダイヤモンドエアサービス株式会社提供)

“トピック”

おりひめ・ひこぼしの次はISSを見よう

七夕は終わりましたが、7月7日に夜空を見上げた方も多いかと思います。ところで現在宇宙で建設中のISSが肉眼でも見られることはご存じでしょうか。ISSは日没後や日の出前に見ることができます。これは、地上に日光が当たっていらず、高度400kmのISSに日光が当たっているとき、その反射光が地上から見えるためです。

NASAの宇宙ステーションホームページでは日本各地でISSが見える日時・方向などをお知らせしています。ぜひ下記のホームページにアクセスして、夏の夜空に目を凝らしてみてください。

<http://kibo.tksc.nasda.go.jp/>



東京都町田市から撮影したISS
(八柳正之氏撮影)
円内の白い線がISSの光跡です。

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼうWiークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wiークリーニュースから転載した旨を記述ください。